



踊る弁護士

会員

置塩 正剛<57期>



"Mambo King" Eddie Torres, その娘の Nadia と

「Salsa (サルサ)」というジャンルの音楽、そしてダンスがある。

もともと興味があったわけではなく、むしろ「踊る」などとは縁遠い世界にいたのだが（学生時代は体育会陸上部で短距離をひたすら走っていた）、ふとしたきっかけで知り合いに誘われ、いつの間にかどっぷりとはまってしまった。短いとは言えない受験時代、気分転換としての Salsa がなければ、合格をあきらめていたかもしれない（口の悪い友人は、「Salsa を知らなかったらもっと早く受かっていただろう」などと言うが、決してそんなことはない）。

そもそも「Salsa」とはなんぞやについて、実はあまり詳しくはない（楽しく踊れるなら理屈はどうでもいい）が、その歴史は比較的新しく、1960 年代ころに、キューバやプエルトリコといった中米カリブ海のラテン音楽が、アメリカの「Jazz」や「Rock」と融合してニューヨークで生まれ、ひろがったものであるらしい。

「Salsa」という言葉を聞いたことがある人は意外に多いようだが、どんな音楽、どんなダンスであるのか、具体的にイメージが沸く人は、あまりいないようだ。テレビ等で見たことがあるという人もいるが、たいていは「密着度の高いエロティックなダンス」という、偏ったイメージを植え付けられていることが多い。そういう踊りが好きな人もいるが、多数派ではない（と思う）。少なくとも、生来恥ずかしがり屋の自分は、密着系の踊りは非常に苦手である。

「Salsa」が楽しいのは、どんどん交流の輪が広がることだ。基本的な決まり事（ステップ）だけがあるので、初めて会った人とでも踊れるし、言葉が通じる必要もない。特に最近では、世界中、ちょっと大きい街には踊れるところがあるので、簡単に現地の人と仲良くなれる（問題なのは、世界中に出かける暇がないことだ）。

これを読んで、「サルサ」がどのようなものか、イメージが沸いた人はいないはずだ。でも、興味を持った人は、こっそりと、いや、堂々と声を掛けていただきたい。